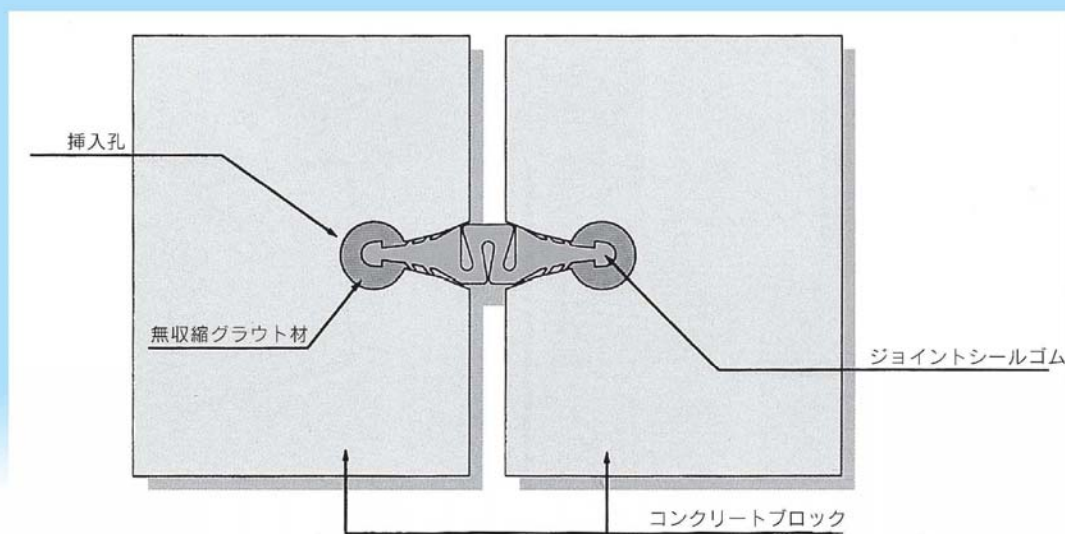


TSKジョイント工法

■ 特長・ポイント

- TSKジョイント工法とは、T(耐震性)・S(止水性)・K(可撓性)の性能を有し、かつ経済的に優れたジョイント工法の総称です。構造的には、あらかじめ成形したコンクリートブロックの接合面の挿入孔に、ジョイントシールゴムを挿入し、注入孔よりグラウト材を充填して、コンクリートブロックを一体化させる工法です。



※ボックスや水路まで、様々な用途に対応可能です。

耐震・可撓性

ブロックの全ジョイント部に可撓継手を設けているため各々が地盤の変化に追従し過大な変形を吸収する。

止水性

水深10m以上の水圧がかかっても、漏水がありません。

施工性

ジョイントゴムがガイドの役割を果たすためスムーズな引寄せができ、グラウトもスピーディーに処理することが出来ますので工期が短縮できます。

経済性

従来の可撓性ジョイントより廉価で施工性がよい為、経済性に優れています。

適応性

簡素な形状によりどんな製品にも対応します。